

介護福祉学科[2年制]

目 標	●「ひと」の「いのち」と「生活」を支えるための専門的な知識と技術を身につける。 ●高い倫理観を持ち、利用者が望むケアを自律的に実践できる能力を養う。 ●介護福祉士[国家資格]の取得
めざす資格	●介護福祉士[国家資格] ●マイクロソフトオフィススペシャリスト（Word/Excel）

	1 年 次		2 年 次	
	< 前期 >	< 後期 >	< 前期 >	< 後期 >
到達目標	介護の専門職に必要とされる基本的な知識と技術を習得する。また、地域で生活する利用者に関わることで、利用者を理解するとともに、自己理解を深める。	前期で学んだ介護の知識と技術をさらに学ぶとともに、現場での実習を通じて実践力とコミュニケーション能力を身につける。	これまで学んだ知識と技術を統合し、根拠に基づく介護を実践できる力を習得する。また、多職種連携によるチームアプローチについて理解する。	利用者の状況に合わせた介護を行う力を身につけるとともに、専門職としての倫理観を養い、自らの介護観を確立する。国家試験対策に積極的に取り組み、介護福祉士国家試験合格をめざす。
カリキュラム	人間と社会			
	講義 人間の尊厳と自立			講義 人間関係とコミュニケーションⅡ
		講義 社会の理解Ⅰ	講義 社会の理解Ⅱ	演習 介護福祉総論
	講義 人間関係とコミュニケーションⅠ		演習 コンピュータリテラシーⅠ	演習 コンピュータリテラシーⅡ
	介護			
	講義 介護の基本Ⅰ	講義 介護の基本Ⅱ	講義 介護の基本Ⅲ	
	演習 コミュニケーション技術Ⅰ	演習 コミュニケーション技術Ⅱ		
	演習 生活支援技術Ⅰ	演習 生活支援技術Ⅱ+生活支援技術(レクリエーションⅠ)	演習 生活支援技術(レクリエーションⅡ)	演習 生活支援技術(調理実習)(福祉用具)
	講義 介護過程Ⅰ	講義 介護過程Ⅱ	講義 介護過程Ⅲ	講義 介護過程Ⅳ
	演習 介護総合演習Ⅰ	演習 介護総合演習Ⅱ	演習 介護総合演習Ⅲ	演習 介護総合演習Ⅳ
	実習 介護実習Ⅰ		実習 介護実習Ⅰ	
		実習 介護実習Ⅱ	実習 介護実習Ⅱ	実習 介護実習Ⅱ
	こころとからだのしくみ			
	講義 こころとからだのしくみⅠ	講義 こころとからだのしくみⅡ	講義 こころとからだのしくみⅢ	
	講義 発達と老化の理解Ⅰ	講義 発達と老化の理解Ⅱ		
	講義 認知症の理解Ⅰ	講義 認知症の理解Ⅱ		
		講義 障害の理解Ⅰ	講義 障害の理解Ⅱ	
	医療的ケア			
			講義 医療的ケア①	演習 医療的ケア(演習)
		演習 就職実務		講義 医療的ケア②
		講義 社会人基礎講座Ⅰ	演習 社会人基礎講座Ⅱ	
試験	前期末試験	後期末試験	前期末試験	後期末試験
スケジュール	入学式 新入生オリエンテーション ボウリング大会 介護実習Ⅰ 夏休み 介護実習Ⅱ 防災訓練 学園祭 スポーツ大会 冬休み 学びフェス 春休み 校内合同 企業セミナー		介護実習Ⅱ 防災訓練 学園祭 スポーツ大会 介護実習Ⅱ 介護実習Ⅰ 夏休み 介護実習Ⅱ 防災訓練 学園祭 スポーツ大会 冬休み 介護福祉士国家試験 学びフェス 春休み 卒業式	

科目内容	
人間の尊厳と自立	人間の尊厳・人権尊重および権利擁護について理解し、人間にとつての自立の意味や自己決定の考え方を学ぶ。
人間関係とコミュニケーションⅠ・Ⅱ	人間関係を形成するためのコミュニケーションの基礎を学ぶ。また、組織の運営管理や人材育成などのチームマネジメントについて理解する。
社会の理解Ⅰ・Ⅱ	家族・地域・社会のしくみと地域における生活の構造を学ぶ。また、社会保障制度のしくみおよび介護保険制度、障害者保健福祉制度について理解する。
介護福祉総論	介護福祉士に必要な知識と介護の根拠を学ぶ。
コンピュータリテラシーⅠ・Ⅱ	Wordの基本操作を学習し、文書作成の能力の向上を図る。 また、Excelの機能を理解し、基本的な操作方法を身につける。
介護の基本Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	介護福祉士の専門性や職業倫理について学ぶ。また、介護を必要とする人の理解を深め、自立に向けた支援や介護のリスクマネジメントについて学ぶ。
コミュニケーション技術Ⅰ・Ⅱ	利用者や家族とのコミュニケーションの基本的な技術および情報共有のためのチームのコミュニケーション技術を習得する。
生活支援技術Ⅰ・Ⅱ レクリエーション(調理実習)(福祉用具)	移動・身じたく・食事・入浴・清潔保持・排泄・家事・休息・睡眠・終末期の介護および居住環境の整備や、福祉用具の活用に関する知識と技術を習得する。
介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	介護過程の一連のプロセスおよびケアプランとの関係性を理解し、実際の事例を通して介護過程の意義と方法を学ぶ。
介護総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	介護実践に必要な知識と技術を統合し、実習に向けた準備を行う。 また、実習の振り返りを行い、自己の課題を明確にするとともに、事例研究を行う。
介護実習Ⅰ	デイサービスセンターなどで実習を行い、地域で暮らす利用者および実習施設・機関の理解を深め、生活支援を行う基礎的な能力を習得する。
介護実習Ⅱ	特別養護老人ホームなどの入所施設で実習を行い、利用者主体の介護過程を実践的に学ぶ。 また、介護福祉士の役割やチームケアについて体験的に学ぶ。
こころとからだのしくみⅠ・Ⅱ・Ⅲ	移動・身じたく・食事・入浴・清潔保持・排泄・休息・睡眠・終末期のケアに関連した、人間の心理(こころ)と人体の構造と機能(からだ)を理解する。
発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ	人間の発達段階における身体的・心理的・社会的特徴と発達課題を理解する。 また、老化に伴う変化や高齢者の疾病の特徴と生活への影響を理解する。
認知症の理解Ⅰ・Ⅱ	認知症の医学的・心理的側面と生活への影響を理解し、その特性を踏まえた認知症ケアおよび家族への支援について理解する。
障害の理解Ⅰ・Ⅱ	障害の医学的・心理的側面を理解し、ライフステージや障害の特性に応じた支援および家族への支援のあり方について学ぶ。
医療的ケア①・②	医療的ケアの実施に関する倫理上の留意点や感染予防等について理解する。 また、喀痰吸引と経管栄養を実施するために必要な知識と技術を習得する。
医療的ケア(演習)	喀痰吸引と経管栄養を安全に実施するため、確実な手技を習得する。 また、救急蘇生法の技術を習得する。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ	3CAN教育(1.自己効力感、2.成長実感、3.学び続ける習慣)により企業が求める人材をめざす。